京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行[illegible]五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通(電話六六三)

發行所 京城新報社

京城居留民團公文

京城居留民團告示第一號

京城居留民團區域內ニ居住スル者ニシテ明治三十六年四月一日ヨリ明治三十七年四月一日ニ至ル間ニ出生シタル兒童ハ來ル四月一日就學ノ始期ニ達スヘキニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學證ニ戶籍謄本ヲ添ヘ當民團役所ニ提出スヘシ

明治四十三年二月十九日

京城居留民團民長 古城管堂

寄書 先づ己に顧よ

旭川

韓國に於ける諸般の事情は本國人士の多くに知悉せられざるのみならず、所謂韓國通を以て任ずる人の如きも甚だしく實狀に遠かれり、國家の爲め大なる損失なりと云はざる可らず、とは在韓邦人有識者間に慨嘆せられつゝある所にして又事實なり、然り然れども焉ぞ知らん母國官民の多くを誘ふて此所に至らしめたるものは實に從來及現在在韓邦人ならんとは。

母國に在りて韓國の事情を知らんとするものにして、知己を韓國に有するものは之れに縋りて此れを知るを得べきも、些の因緣を有せざるものにありては新聞紙上の報道――即ち歸朝者の談話に依るの外なき也、抑もの間違ひは此の歸朝者の談話に生ず、金融機關に從事せるものは經濟界の順潮を說き拓殖に從ふものは其の容易なるを唱へ、牧民に從ふものは公安秩序の恢復を謳ふ、各人各說にして加かも悉く自家に都合のよきことのみ、翻つて之れを韓地在住者にして諸種の事情に依りて豫期の利益を擧げ得ず、或は失敗したる歸朝者に聞かんか、交通運輸の不便、經濟狀態の不良、公安秩序の險惡を說く、前者に聞きたるものは甚だしく樂觀し、後者に聞きたるものは頗る不安の念に驅らる、而して之れと兩者に聞きたるものは孰れが果して信ずべきやに惑ふ、混沌として知られざるに終る之れを在韓新聞紙に見るも或る者は統監政治の圓滿に遂行せられつゝあるを傳へ、或る者は其の然らざるを傳ふ、身親しく韓國にあるものと雖ども時に惑ふ能はず、況んや他をや、時に偶々實相を傳ふるものあるも、先入主をなせるものあり或は味方身贔負よりして之れを斥くるものあり、若は其人の身分卑く聲大ならざるを以て多く聞かれざる等のこともあるは爭ふべからざる事實なり、之れを要するに地位あり名望あり責任ある在韓歸朝者の悉くが一の上下を欺罔し、其の悉くが左右を顧眄しつゝあるは事實ならずや、萬一否ずと云ふ人あらば幷も又事實を僞るもの也。己れに出でたるものは己れに歸る、と今更ながら至言たるを覺えずんばあらざる也。（廿五日稿）

雜報

模範貯金の開始

咸北會寧に於ては同地委員會の間に一般貯金獎勵の模範を示さんとの目的にて各地方委員は旅費或は賞金を受けたる時は其百分五賞與は同百分十を貯金する事に協定し尙は面長及公錢領收員が同公用出張旅費被給の場合にも同樣幾分の貯金をなさしむ事となしたるが如此鮮人が次第に堅實の方面に目を着くるに至りしは假令形體的なりと共喜ぶべきの現象なり

●本年三月中の行事

京城測候所報左の如し

▲曆日●

祭日	春季皇靈祭	三月廿一日		
	乾元節	三月廿五日		
日曜	六日	十三日	廿日	廿七日
節季	啓蟄六日	彼岸十八日	春分廿一日	社日廿四日

晝夜	晝	夜
一日	十一時廿分	十二時四十分
十五日	十一時五十三分	十二時七分

▲氣象●

地名	氣溫	降水量	同日數	快晴
京城	二、四	一、九五	六	七
仁川	二、八	九、三	五	八
釜山	七、〇	五〇、二	一〇	六
元山	二、七	四八、五	七	一二

地方通信

▲平壤通信

●韓牛輸出と平壤●　韓國興業會社に於て昨年來韓國產生牛の販賣輸出を取扱ふ事となりたるに就ては當地出張所に於ても之が販賣を爲しつゝあるが當地附近の生牛は非常に良好にして食役共に日本に於るものに遜色なきのみならず其性質の溫和なる爲め役牛としては寧ろ日本に於るものに勝る所あり旁同會社に於ても今後は之が增殖の途をも講せん計畫ある由なるが更に農商工部に於ても同樣韓國に於る生牛の增產を圖る爲め其種類の良好なる當地の生牛に重きを置き爲に兩三日前同部獸醫學士原島氏を派遣する事となり當地の生牛を買入れ之を以て南韓地方に於る矮小にして比較的劣等なるものに交尾せしめし上同地方にも當地と等しき食役共に良好なる生牛を產出せしむる計畫を爲したるが如斯くして漸次全韓一般に於て生牛增產の實を擧げ以て韓國に於ける之が需用を充たすのみならず延て其日本內地に於る食牛の缺乏をも補ふべく今後は今日に於けるもの以上に多大なる之が輸出を圖らむ計畫なる由なり尙今回來壤したる原島氏は前記生牛の購入の外之に關する諸般の調查を爲しつゝあるが尙四五月間は滯在すべしと云ふ

●平南線開通に就て●　去日請負入札に附したる平南線第四工區工事は昨今較暖氣に向ひたるを以て愈三月一日より土工に着手すべく同時に同線昨年よりの繼續工事第一より第五に至る其他の工事も開始すべく之が竣工期は一二三五の四箇所は本年八月末日今回新に着手する筈の第四工區は同九月末日迄の豫定にて之にて全線五工區の請負工事は全部竣工する事なるが其上は更に線路の敷設沙利の撒布等を爲す筈にて沙利の採取に就ては大同江より運搬せざるを得ざる面倒あれば之が爲に意外の勞と時日を費すの止むを得ざるものあるも當局に於ては豫定の如く是非共本年中に全工事を完成し來春匆々列車の試運轉を行はむ筈なりと云ふ

▲平南間郵便物輸送●　平壤鎭南浦間の郵便物は大同江結氷の爲め陸上馬背の便によりて輸送しつゝありしが愈々解氷も近きに迫りたるを以て不日鐵道便により兼二浦經由にて輸送すべしと

▲順川郡衙と試作場●　順川郡に於ける暴民事件にて同郡衙は暴民放火の爲め烏有に歸したるを以て不日新築せらるべく又同郡に設置しある農事試作場は其際何等損害を受けざりしも森主任[illegible]殺されたる爲め閉鎖せしが觀察道に於ては近々その後任者を赴任せしめ開場の筈なりと

▲第十一旅團の歸還●　平壤駐劄第十一旅團司令部は愈々來る四月上旬出發歸還の途に就くべく數日前陸軍省より歸還內命ありたりと云ふ（廿五日）

日本銘刀傳

第五十五席　邑井一講演

太郎は稻荷山に參詣を致し、と胸に浮んだのは人皇六十五代一條院の御宇三條の小鍛冶宗近、當稻荷山に心願して天晴銘刀を打つて末世に美名を輝やかしたとある、然れば我心地宗近はざには劣らずとも、當稻荷山大明神の神恩を蒙つて、日本に聞ゆる名刀鍛冶になりたきこと、三日三夜と云ふもの神前に寢食を忘れて祈願を致しました、是れは稻荷山の狐が出て、三條の小鍛冶の向ふ槌を打つたなぞと申しますのは大きな妄說に致しまして、此の稻荷山の粘土を小鍛冶宗近が取りまして、此



れを刀の燒刃へ用ひますに、實に適當して結構、夫れがために右の神恩を謝すために、毎年十一月八日に神を納めて鞴を休めて一日祭りを致す、是れを後世鞴祭と唱へまして、何れも鞴を使ひまする、鍛冶の許では立派に此の祭を致しまするのは、小鍛冶が神恩を謝する祭でございます、夫れを思ひ出して此の太郎は一生懸命に祈り眠るともなく、現ともなく朦朧と夫れへ現はれ給ひたるのは、白き裝束を召し、頭りは白髮にして冠を頂き、白き裝束を以て其の處に現はれ、神「汝は吾左衞門村正の一子太郎祐實、今神に願つて天晴れ日本の名刀鍛冶になりたいと云ふ心、最と殊勝なり、汝の心に依つて貫ぬく時には、天晴れ名刀鍛冶にもなるべし、然れども如何に精神を勵むと雖へども、其の道に宜き師を求めねば其の技量に進むものにあらず、好き導きに就て、精神を勵まし、怠りなく務むる時は汝後世天晴の名刀鍛冶となることも疑ひなし、是れより東を指して一百有餘里、此の地に足を止めんには、自然其の方宜き師に就いて其の技の極意を得べし、努々疑ふことなかれと、告げ給ひしと思ひしは、全く是れ南柯の一夢目を開いて邊りを見れば、以前の神前のことゆゑ、ハッと驚ろき飛退つて、アナ難有き仕合せ、是れより心迷はず東に去つて其の師に仕へることと怠りなく、神恩の難有さ、生々、世々忘却は仕らん」と暫らく拜んで神前を立去るソコで東にあたつて一百有餘里と云ふは何れの地なるべしと考へると、京都より一百有餘里は相摸國だ、是れは我が父に於ては、鎌倉雪の下に居られた岡崎五郎正宗の門下であつた、然れば我れ是れより鎌倉に參り足を留むべし、夫れから京都を立つて漸々泊を重ね日を經まして、乘込んで參りましたのは、丁度尾州と參州の國境、境川の邊り、そこで餘り草臥たから道傍の茶店に　太「免せよ」茶「入らつしやいまし」太「イヤもう此の邊は眞に見晴しの宜いところだな」茶「ハイ然やうでございまして」太「此の先きの桶挾間田樂坊と云ふのを通つて參つたか」茶「然やうでございます、小松林でございまして、小山がありまして眺望宜い處でございます、所へ一人年頃五十八九に爲られました人物、供を連れて　主「免せ」と這入つて來る」太郎は邪魔になると思つたから、此方へ掛替て向ふむきになつて其の這入つて來た人の顏を見て居た、先方でも頻りにジロ／＼見て居た、先方は主從で頻りに話しをして居る　主「今日は何しろ岡崎の泊と致さうか」僕「夫れが宜しうございます、御緩くりで宜しう」主「れ若い方は何地へ入らつしやる」太「私は相模國を指して參ります」主「アー然やうでござるか……而うして其許は何う云ふ御身分の方か」太「私は相州に志して、一修業しやうと思ふので」主「ハーア未だた年は若いが感心御奮發、相州でなければならんのでございますか」太「然れば相州に參るので」主「シテ相州は何の邊でございます」太「相州鎌倉に參らんと思ふので」主「ハーア相州鎌倉に志して出でなさるか……鎌倉には鶴ケ岡八幡、其他有名な人々の何れも故跡を遺した所でござる」

東京電報

東宮殿下還啓 二十一日葉山御用邸に御避寒相成たる皇太子殿下には三月上旬東京御出發關西に御旅行に付今二十八日一先づ東京に還啓あらせらる(二十八日)

陸軍紀念祝賀 來る三月十日は明治三十七、八年戰役陸軍第五回紀念日に相當するを以て各元帥以下將卒は偕行社に於て同社創立三十五年紀念祝賀を兼ね盛大なる祝賀會を催し當日は相撲其の他の餘興ある筈(同上)

佐々木侯危篤 樞密顧問官正二位勳一等侯爵佐々木高行氏の病氣危篤なり(同上)

米觀光團歡迎 東京市にては今回來朝の米國觀光團一行の爲め今二十八日午前有樂座に於て盛大なる歡迎會を催す(同上)

陸軍增俸內定 陸軍省にては衆議院を通過したる官吏增俸案の貴族院にても衆議院を通過可決するものと見越し既に陸軍給與令細則改正案起章中なるが右は當局者に於ても衆議院の希望もあり且つ下士卒增俸の急なるを認め將校は其の比にあらざるを以て改正の結果將校の增俸は二割とし下士卒は均三割づゝの增俸を行ふ事に內定せり(同上)

官鐵現在哩數 官鐵全線營業哩數は五千百六十哩にして之れを前年末に比し八十二哩の延長を見る而して之れを各管理局別にすれば東部一千三百四十哩中部九百八十二哩西部九百九十三哩北海道六百四十五哩九州五百六十七哩韓國六百四十一哩臺灣所九十七哩也(同上)

銀價相場暴落 先日來持續し來りたる銀塊相場は昨日二十四片臺を割り二十三片十六分七に暴落したり(同上)

長官交迭傳說 又々副統監府及總務長官交迭說起り法制局長官安廣伴一郎氏總務長官に任命せられ統監府事務取扱石塚英藏氏は安東縣の後を襲ひ法制局長官たるべしとの說を傳ふるものあるも無根の說に過ぎざるべし(同上)

雜報

手續ご徵稅手段

西韓各地に於ける市場稅反抗の氣勢は漸く猖獗に赴し一方當局者は徵稅方法に慎重なる注意を拂ひ其目的を達するに遺憾なきを期せんと聲言し居るも頻々として達する事實の情報を唯だ平穩を傳ふるのみにして稅金の收納は毫も豫定額を得る能はざるのみならず甚しきは數千の賣上高を看過して一厘の課稅をも爲し得ざるが如き事ろ憂慮す可き狀態なり斯かる姑息の靜穩は聽て國法の威信を失ひ延びて地方費財政の根底を危ふするに到る可し今各道に於ける市場稅豫算額を見るに左の如し

道別	豫算額
漢城府	三、七五〇、〇〇〇
京畿道	三九、一八二、〇〇〇
忠清北道	一二、四四八、〇〇〇
忠清南道	二一、九〇二、八六〇
全羅北道	六、〇二二、〇〇〇
全羅南道	一〇、〇〇〇、〇〇〇
慶尙北道	四一、六〇〇、〇〇〇
慶尙南道	二五、五二五、九二〇
黃海道	三〇、〇〇〇、〇〇〇
江原道	四、〇八〇、〇〇〇
平安南道	二一、九一三、五六〇
平安北道	三三、一六九、八九六
咸鏡南道	一、二一八、二一〇
咸鏡北道	[illegible]
合計	二五九、七四一、四四六

則ち該稅は地方稅中の最重要科目に屬し特に平安北道の如きは地稅附加稅に比し二倍二步以上を豫算しあり然れば該稅の成績如何は地方費に屬する各般の經營上尠からざる打擊を被らしむるに到るべし然るに其徵收現狀は上記の如し若し此儘にして何等施す處なくんば益々彼等頑民の輕侮を受け統監政治を與みし易しとの感を起さしむべしと憂ふるものあり

棉花輸出の激增

昨年秋季より本年に亘りて韓國棉花の輸出されたる總高は既に百万圓を超過したる由なるが之れを一昨年より昨年春季迄に輸出したる總高に比較すれば約五倍の增額にして斯の如き盛況を呈するに至りし原因は米國棉花の騰貴と韓國棉花の豐作とに據れるものにて農商工部が去る明治卅九年より獎勵し栽培せる陸地棉約四十萬斤を輸出せりと

市場稅舊慣調査

例の紛擾を惹起したる市場稅の舊慣に付き其の筋にて調査したる處を聞くに左の如きものなりと云ふ▲徵收の目的 各郡々衙には舊時廳費の配布なかりしを以て諸經費殊に薪炭油及廳舍修理掃除費等に充つる爲めに該稅を設けたり▲負擔者 各市場に集合せる褓負商及荷物を携帶し來る者に對し一人一厘宛牛馬を牽き來る者二厘宛を徵收せり▲徵收機關 郡衙に大同庫なるものを置き會計事務を處理せしめ大同庫は各市場に市場稅徵收員を命じ 徵收員は多く市場の數額を量り手數料を取るものに命ず 市場の出入要路に在りて出入商八を待ち受け市場稅を徵收せしめ又或は鐵函を掛け置き市場に集合せるものをして任意に稅金を投入せしめたることもありと▲集金額 人出少なき市場に在りては一箇月一圓內外の徵收に過ぎざるが其の過半は徵收員の私服するものなり▲市場稅と民心 市場に集合するものは概して能く徵收に應じつゝありたり或る市場の如き徵收函を掛け置き出入人に任意投入せしめたるに脫稅者一人も無かりしと▲市場稅の名 市場稅は從來雜稅と稱したり今より百年前より課稅し來り十六年以前之れを廢止したりしと云ふ

南大門市場ご徵稅

南大門市場は明治二十七年以前は南大門外里門洞に在りて開市しつゝありたるが道路狹隘なる上に降雨あれば泥濘脛を沒し風一度到れば黃塵天を蔽ふの有樣にて諸外人の入京に伴れ批難の聲喧しくなり遂ひに時の內藏院卿李容翊令を下して南大門內なる倉庫即ち現在の所に移轉することゝなり一進會總務金時鉉をして頭領とし市場稅の小名の下に倉庫貸下料を賦課徵收し太皇帝の命に依る南廟祭祀費、之れに審記並に小使の給料其他雜費を差引き其殘額を帝國財產整理局に納入したり隆熙二年六月の變制後度支部所管となりたるも官有倉庫三百三十一、金時鉉の私設に係るもの百三十一あり度支部に於て彼是行懸上依然金時鉉をして市場開權者とし帝室財產整理局に倉庫稅を納入したるが昨年十一月地方費法に基く新稅率を定めたるに月額百七十五圓にして第一期以來各商民共少しも苦情なく寧ろ納稅を以て當然なりとし未だ一人の怠納者を出さず彼の順川に於ける暴動も何等の影響を與へず成績頗る佳良なりと云ふ

合併後の京龍議員

京龍兩民團合併は殆んど一人の異議を唱ふるものなき有樣にして之が豫備的交涉は着々進行中なるが合併後に於ける兩地議員の撰出數に就き多少の議論を免かれざるべし此問題は洵に些々たるが如きも感情に流れ易きものなれば虛心坦懷以て協定の效果を收むべしと言へるが今假りに合併后の議員總數を二十四名とせんか其四分の一を龍山より出だし四分の三を京城とせば最も穩當ならんといふ尤も現在の居留人口及歲出入豫算額より見れば二步八步の割合に相當し京城側の不利に相違なきも漸次南進の傾向ある京城の大勢に顧み多少の不利は忍ぶを得べく而して又便宜上龍山は特別選擧區とし四分の一則ち六名の議員を撰出する事とせば該地側にても充分滿足するを得べし其他現民團の處置及財產の關係等各種の問題存在するも如上の議員問題にして落着すれば易々として解決を見るに到る可しと云ふ

日韓官民の懇親會

慶北義城郡にて此程日韓官民相互の意思疎通を圖る爲去る廿日同邑內日語學校內にて午前十一時より懇話會を催ふしたるが會する者百廿名日人官民十七名其他は韓人官吏の外兩班、儒生、面長等なりしが先づ郡守廉奎桓開會の辭を述べ第二に區裁判所判事中村隆省起つて裁判の無私公平を說き署長花里初太郎は警察事務の精神を縷述して韓民の惑を釋き取扱所長池田元逸は貯金獎勵を財務署金淳恒は納稅に關する人民の義務等それ〲演說するところあり愉快に晚餐を喫し午後六時三十分より提灯行列を行ひ先づ各官衙の門前にて万歲を三唱し町內を練り歩きたるがこの舉の韓民に與へたる感動は非常なるものにて皆々滿悅の狀なりしと

警務課員纛島遠足

廿七日警務課員は纛島へ遠足を試みたり今その次第を聞くに午前九時半新町外大師堂に一同集合したるが开は松井局長、今野課長、今村、境、齋藤警視を始め警部主事二十四名にて途中人情風俗を視察し纛島農場に至り同農場長久津米氏の案內にて完備發達せる農場內を縱覽し途上に獲たる鴨雉を燒いて晝餐を終りそれより船にて一里餘を下りたるが途中にて淺瀨に乘上げたる爲め石原主事今村警視今井警部の三人は此の極寒の候をも厭はず日頃の蠻カラをみき出しにして素ッ裸となり漢江荘漫たる水中に身を躍らしやつとの事に舟をやり龍山に着船夕頃各自々宅へ歸りたるが極めて盛會なりしと云ふ

港灣視察の報告會

岩崎民長及齊木商業會議所副會頭の母國築港視察報告會は去る廿六日午後二時より民役所樓上に於て開きたるが會する者民會議員及商業會議所議員築港期成會員其他の官民五十名に及び先づ民長は橫濱港灣に關する沿革設備經費其他精密に涉れる調査の結果を報告し次で齊木氏は名古屋及び大阪港に關し前同樣頗る綿密なる視察の結果と好適なる觀察批評を下し一般聽衆に少なからざる參考資料を與へ午後六時閉會したり因に岩崎民長の神戶港視察談は來る三四日頃再び集會の上なす筈なりと

蠶業傳習所ご補助

本年度農商工部より補助を受くる蠶業傳習所及び稚蠶共同飼育所は左の通り
忠清南道太田、平安北道新寧、江原道鐵原、春川、全羅北道全州、全羅南道光州、慶尙南道三浪津、平安南道江西、京畿道陽智(以上傳習所)江原道春川中北中面、北內、東山外一作面(以上稚蠶共同飼育所)
此の外十ヶ所は既に願書を差出しあり大々手續中なれど未だ豫定數に滿ざれば他箇所にても早く願書を提出するを要す萬一遲延し定數に充つる時は本年度の補助に洩るゝに至るべしと

共進會參觀者注意

今回福岡、名古屋兩市に於て開催さるゝ兩共進會を參觀せんとする者は左の規定に依り渡日する時は大に便宜なるべければ此に揭載すべし
單獨旅行 當局線主要驛より博多及名古屋行二割引往復券を發賣す、通用期限は平壤、新義州、安東縣發賣の分四十日間其他は三十日間
團體旅行 二十名以上片道及往復共五割引とし尙引率者は滊車無賃滊船賃五割引とす

關稅免除ご統監府

統監府官吏關稅免除に就き最近商業會議所役員會に於ては公然其筋に稟議することゝなりしが統監府當局者に於ても深く商家の意衷を諒とし相當便宜の處置を取るに至るべしと尙ほ同統監府官吏の特殊待遇は鶴原前總務長官時代に度支部との間に於て單に口頭上の約に止まり今日に至りし次第なれば同撤廢に就きては法制改廢等の煩もなく遂行し得らるゝ有樣なりと云へり

中學校の入學試驗

民團立中學校は統監府立中學校の新設と同時に廢止し民團立中學校の現在生徒百六十一名は府立中學校へ編入せらるゝ筈なれば民團立中學校にては新入學生の募集を見合すべしとの說ありしも府立中學校は新學期までに設立の運びに至るや否や疑はしきを以て民團立中學校にては二十日頃より新入學試驗を行ふ由而して新入學生は八十名を募集すべしと云ふ

韓銀貨幣發行週報

(自二月二十日至同月二十六日)

一 銀行券總發行平均高	一三、五五一、八六〇
內 正貨準備發行高	四、七八六、五〇〇
保證準備發行高	八、七六五、三六〇
二 銀行券平均手許有高	五七二、四八七
三 銀行券市場平均流通高	一二、九七九、三七三
四 硬貨發行額(二月二十六日現在)	五、七四〇、三四五
內 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九三八、六五〇
同 二十錢	一、四〇〇、五一〇
同 十錢	九二九、三四〇
白銅貨五錢	六八一、一〇〇
青銅貨一錢	二六〇、二六五
同 五厘	八〇、四八〇

平石法院長の謝狀

安重根事件結了に付平石旅順高等法院長より石塚長官宛左記の通り同長官以下の援助により同件も好結果を以て落着に至りたると謝する旨の謝狀を送越されたり

拜啓益御清穆奉賀候陳者豫而御配慮を煩はし候安重根事件も幸に何等の故障なく好結果を以て落着致候右は全く貴官始め御部下各員の御援助に依る儀と奉深謝候玆に本件の終結に際し不取敢謝意を表し併せて御健康を祝し申候匆々敬具
二月二十二日　平石氏人
石塚英藏閣下

間島邊務公署撤廢

今回清國政府は間島が先年我が統監府の間島派出所設置と同時に同地に設置したる邊務公署を撤廢することに決し邊務督辦吳祿貞以下吏員一同近日同地方を引揚ぐる由統監府へ公電ありたり

品評會審査長決定

來る三月十八日全州に於て開催する第一回全北物產品評會は盛大なるものなる事は既報の通りなるが今回審査長に種苗場技師岸秀次氏任命されたりと

造林獎勵と當局者

過日開催されたる林務官會議に於て造林事業獎勵に關する一事項ありたるが其方法に就き苗木買上げ荒地の植樹薪炭代用の研究、苗木無料下付又は巡回指導等に力を盡くすべしと云へり

清韓民報押收さる

桑港にて發行せる清韓民報百七十號は其の筋の手に押收せられたりと云ふ

驛名改稱の建議

仁川京町居住の中村建二外十五名は連署の上仁川商業會議所に宛て杻峴驛を仁川驛とし現在の仁川驛を仁川港驛と改稱すべき旨建議書を提出したりといふ

財務官の送迎會

水原財務署小笠原財務官漢城財務署高久財務官交代に就き同僚及朋友間に於ては今一日京城ホテルに於て兩氏の送迎會を催す由

理事官の送別會

仁川信夫理事官歸朝に付今一日午後五時より鮮樓に於て官民有志者は送別會を開催する筈也

各銀行の營業現況

在京城日韓各銀行營業現況に關し度支部の調査に依る二月十五日現在の預金總額は千〇六十三万圓にして總貸出高は四百七十二萬餘圓を示せり今各銀行別を示せば左の如し

▲預金之部 (單位千圓)

銀行	定期	當座	特別當座	諸預金
韓國銀行	二、〇三二	一、一〇四	一七九	一七三
第一銀行	一、四八六	六八一	六九五	七四〇
百三十銀行	八五	七五	三九	六六
第十八銀行	[illegible]	四二三	五	一〇二
大韓天一	一三	一八一	九二	二二
漢城銀行	一七七	一〇五	六二	一〇
韓一銀行	三三三	一八五	七三	七八
漢湖農工	一〇〇	一八四	七七	九二
總計	四、三四三	三、六六〇	一、四一六	一、二二五

▲貸出の部 (單位千圓)

銀行	貸付金	當座貸越	手形	計
韓國銀行	五九六	五四	一六八	八一四
第一銀行	二八三	一七八	[illegible]	[illegible]
百三十銀行	四三九	七六	[illegible]	九五〇
第十八銀行	八八	八八	[illegible]	四一九
大韓天一	一七八	二五三	三二	[illegible]
漢城銀行	四〇七	二一	二九五	三六三
韓一銀行	二一四		三四四	四八五
漢湖農工	二五三	五	二五七	五二一
總計	二、〇〇一	四九二	二、三三二	四、七二七

內資金總額は千〇六十三萬圓なり因に韓國銀行には政府貸上金八百六十五万一千二百七十一圓あり

全北臨益水利事業

全羅北道臨益水利組合は去る一日より工事を開始し來る十三日益山郡實山里に於て起工式擧行する由なるが同工事は頗る大規模のものにして位置は臨陂益山兩郡に跨り貯水地八百十四町步灌漑區域二千餘町步に涉り工事費二十萬圓にて來る十一月三十日竣工の豫定なるが竣工の曉は一箇年平均籾四萬石代價十六万圓の增收ある見込なりと

兩共進會ご事務所

福岡、名古屋兩共進會參觀者は其の關係の有無に拘らず韓國事務所に至り諸事打合を爲さば非常なる便宜を得べく名古屋は未だ確定せざるも福岡は西湊町三十二番地安武金平方なりといふ

朝鮮日之出の日刊

新橋榮太郎氏主宰の朝鮮日の出新聞は從來隔日刊行なりしが愈々來る十日の陸軍紀念日を選んで其日より日刊新聞に改刊する事に決定したりと云ふ

仁川郵船支店閉鎖

郵船會社仁川支店は廿八日限り閉鎖し同時に同地の堀力太郎氏は元支店跡にて代理店事務を取扱ふ事となれり

韓國牛共進會出品

韓國牛紹介の爲め農商工部より補助を與へ韓國興業株式會社より牝牡各一頭を福岡共進會に出陳する由なりと

仁川取引所の開業

一昨年來休場中なりし仁川米豆取引所は愈々今一日より再び開業せらるゝ筈

岡內部次官の歸期

東上中の內部次官岡喜七郎氏は來月中旬頃東京出發歸任する筈なりと

百圓の成功法

朝鮮日々新聞社調査部の編纂に係る百圓の小資本渡韓成功法は東京實業の日本社より發行する筈なるが其內容は小資本を携へ渡韓成功せし旨數十氏の實驗上より立案したるものにして商業は勿論農工、牧畜等數百編の內より行ひやすきものを擇びたるものなれば少資本者の必讀すべきものなり定價一冊金五拾錢

●大庭貫一氏退京 滯京中なりし平壤民長の同氏は去る二十六日歸壤せり
●米內金策氏退京 滯京中の平壤財務監督局の同氏は二十七日大邱に向ふ
●村幸長の歸任氏 滯京中の度支部建築濟津出張所長の氏は二十七日歸任
●新庄滑一氏退京 浦尾投宿中の大阪商船重役の氏は二十七日平壤に向ふ
●市原晴雄氏入京 大阪商船鎭南浦支店長の氏は二十七日入京不知火旅宿
●向田警視の入京 京畿道警察部長の氏は二十七日入京不知火旅館に投宿
●佐々松主任入京 大倉組鎭山部主任の氏は二十七日入京浦尾旅館に投宿

龍山通信 (廿八日支局報)

●白井總氏の歸任 滯京中の平壤新院檢事長の同氏は二十六日發歸任せり龍山民團役所にては定期會計檢査を六廿七の兩日檢査委員竹內兼吉阪の兩人出席執行し無事終了せり▲臨時韓國派遣隊司令官渡邊少將は廿六日視察の爲め大邱出發鳥致院方面に出張せんとたり又同上第一聯隊長福原大佐は廿八日渡邊少將と同乘太田の所屬隊に出張せり▲山田鐵道管理局技師有田參事は廿七日新義州より平壤へ向け出張▲豫て上京中なりし鐵道管理吉野步兵少佐は廿七日新義州より[illegible]に來着▲瀧脇參謀は廿七日歸任▲龍山駐屯步兵第十三聯隊第一中隊は空砲發火演習を施行する由にて其日割は左の如し
一、三月一日自午前九時至午後四時 梨太院東方
一、三月三日自午前十時至同十二時 斗毛浦附近
倘衛戍司令官木越中將より警戒の爲め京城憲兵隊、理事廳、警視廳、龍山兵分遣所、警察へも通知せり

▲治外法權▼

東京では日韓合併の機迫れりとか云ふ風說が頻りに傳はつて居るが、之に付き官邊に縁ある某子爵の談として東京日日に下の記事がある▲日韓合併の關鍵決して數日內に急轉直下の勢を以て發表するに至るべき旨風說を傳ふるものあれども諸種の事情を綜合して余は到底之を信ずる能はず如何に不言實行を尙ぶ桂侯と雖も何等の刺戟なく又國家の失ありて利益なき斯の如き冒險は[illegible]問題を目前に控へ居れば世人の耳目を聳動するが如き事業を企つるは當分到底行ふべからざる事と信ず[illegible]本は條約改正其他尠なからざる[illegible]に考へざるべからざれば也▲[illegible]統監府の威令漸く韓國の上下に行はれ治績の見るべきもの[illegible]の發篇は要望する所なるも目下の[illegible]別莊に歸療中なる統監の病狀如何にして當分到底其の任に赴く能はず[illegible]べし云々▲韓國鐵道管理局に大海ある事は事實らしい、是れが爲め[illegible]の脫線することは[illegible]何れも安き心なく仕事も[illegible]▲されば心配の[illegible]務に實が入らぬと見へて前月來[illegible]場所近で韓人巡査が一遺會長事[illegible]▲此程釜山[illegible]い、多分理事廳から差止めたのであるが、それが却つて日本の新聞に[illegible]國賊と罵り既に斬り付けんとした[illegible]處が之れが同地の新聞紙に更に出て居る[illegible]韓の新聞紙は之を逆輸入して轉載[illegible]

散髪清人の俠氣(四)

實母の改心……親子の對面……甲の得意と小女の喜……併し嗟今後

暫しが間は甲もお崎も默々として一語をも發せざりき可憐なる少女は娘心にも覊束なき目前の光景に暗愁の色を浮べて打沈む、時、其の時下婢の遮る聲、之を叱する聲、連續すると思ふ間もなく傖佬として階廊を傳ふて甲等が室の扉を排して現はれし一人の男抑も是れ何者なるか猛惡なる其の眼光、禮を知らぬ其の擧動お崎は男の顏を一目見るや吁乎と叫んで顏色を變へぬ、云はず共讀者は既に推しつらん是れお崎の亭主なる花田なり此より先き女房お崎が密かに齎らされし一封の書面を見るや狼狽して外出せし擧動の怪しと思ひし花田が幾程もなく拾ひ取りしは狼狽しまゝにお崎が落し往きたる先刻の書面開き見るが否や斯くは其の跡を追ひ來りしなり側の甲に險しき瞥を呉れて「早く歸れ何を爲て居る」つか〳〵と進み寄りお崎の手を捉へて迫るなり然れどもお崎は默として一言の答も發せず「サ、起たんか」と尙迫る、甲は無言にて先刻より其の爲ん態を凝視し居たりしが此時スックと起つて朱を注ぎながら花田の面上を睨まへつゝ「お待なさい、大体貴下は誰人ですか」「いゝ甲さん此の人が宅でムいます」とお崎は切なき聲にて答ふ無論さあるべしとは甲も推し居たりしが其の餘りに無禮なる今の擧動には甲も一方ならず憤り居たりしなりき「此の方は誰ぢや」今度は花田より問ひを起しぬ「兼々娘が御厄介になつて居た神戸の甲さんです」「ふーん」と云つた儘側のお雪を見守り居たりしが「其麼事は何うでも可いさあ歸れ」再び手を捉つて引立てる「まあ待なさい」「待つも待んもあるか」と力を籠めて手を引けばお崎の腰は浮き上る甲は見兼ねて仲を割り「暫くお待なさい私は未だ貴下には初對面ですが甲と云ふ者です、兼々貴下も御存じの事だろうとは思ひますが、貴下の爲には腹異ひの娘即ち此のお雪さん……」「其の事なれば又改めて伺ひませう今晩は些し急きますから是で失禮します、サ起たんか」と無理遣りにお崎の手を捉つて促す甲の顏面は見る〳〵朱を潮し來りぬ「貴下は此の娘に對して怎麼觀念を持つて居ますか」「那樣事が俺の知つた事ぢやねわ」「何たさ」「サ歸れ」甲には對手にもならずお崎を引立て往かんとす茲々に至つて甲の我慢も遂に破れぬ、「默れッ」言下に其猿臂は花田が襟頸にむンずと竜りぬ。

宋李會見模樣

▽一韓巡査國賊と叫んで
▽拔劍して李容九に迫る

本月中旬韓國一進會長李容九氏が密かに京城を發し釜山に於て宋秉畯氏と會見し何事か密議したる事につきては韓内閣を始め統監府にても時節柄容易ならざる椿事なりとし非常なる注意を拂ひ新聞にも之に關する記事掲載を嚴禁したるほどなるが今當時の模樣を實見せる某韓人の談によれば十六日李容九氏が京城より釜山に到着したる際の如きは數十名の警官は停車場を警戒し苟も風体怪しきものは一人として構内に入らしめず二十餘名の警官は李の前後左右を犇々と取圍みて大池旅館に送り込み此處にて先着の宋秉畯氏と愈々會見する一段となりしに斯くと見たる警官等はスワ兩人の密談ぞと各自に手帳を取出し或は扉の陰に潛むもあり或は押入の裡に身を避すもあり如何なる低聲細語も聽き漏さじと待構へしを不圖見付たる宋秉畯氏は大に怒り我々兩人が久振の會見をなすに如何なれば斯も無禮なる擧動を働くぞと數囲つゝ汝等名を警衛に藉りて紳士の秘密を窺ひ知らんとする耻知らずの狗なりと聞てねよがしに怒號したれど其筋の命令を奉ずる警官等は何條耳を傾くべき益す用心堅固に兩氏の行動を注意するより流石の宋も持餘し此上は席を移して談話の外に洩るゝを防ぐの外はなしと俄に大池旅館を出でゝ守屋ホテルに入りしかば警官の狼狽は一方ならず倉皇として兩氏の跡を追うて守屋ホテルに赴きたるが此時兩氏は階上なる八十疊敷の大廣間を領し四方の襖を開放ちて其の中央に座蒲團を敷かせ大卓子を中に火鉢を擁して相對せる光景には左しもの警官も遂に一人として近く事能はざりしと斯て兩人は日韓合邦に關する成行を詳細に語り今後一ヶ月の間には或ひは我等の運命を開拓すべき大變動を生ずるやも知るべからず兎も角も我が一進會は之れに對する一切の準備を爲し置かざるべからずとて會談數時の後全く其の要領を了るや兩人は互に健康を祝して直に袂を分つことゝなり尋で李は守屋ホテルを出でて釜山停車場に向ひし途中一人の韓國巡査矢庭に大聲を發し「國賊、々々」と連呼せしを聞くや李は滿面に朱を注いでハタと睨み「汝等如き鼠輩の分際として國賊呼はり片腹痛し」と叱咤せるに巡査は躍り上つて狂ひ廻り忽ち佩劍を拔て李に斬りかゝらんとしたるより其騷擾一方ならざりしも幸に警官等の注意に依りて無事なるを得たりと

兇賊の逮捕

▽表面を挿花師匠に措る泥棒

仁川港にては先般來窃盜被害者頻々として二六時中市民不安の念に驅られて休む時なき爲め其の筋にては是が檢擧に極力盡瘁し毎夜々警官三十名をして市中を巡邏なさしめをさ〳〵警戒怠りなかりし處去る二十六日午前二時頃宮町一丁目雜貨店明治屋の裏口より一名の賊忍び入りシャツを窃取して身に纏ひ其他金指環絹ハンケチ及各貴重品等を渙ひたる上尙室内をうろつき居るを家人漸く目を覺して驚きながら密に宮町派出所に訴へ出しかば警官時を移さず出張なして難なく該犯人を取押へ直樣本署へ引致の上取調べたるに犯人は寺町二丁目に居住し表面を挿花の師匠に措りて裏面には窃盜を常業となし居る兵庫縣生れの畑鶴之助(三三)と云ふ前科數犯の曲者にして逮捕當時の如き合鍵三十個ナイフ釘拔等を所持し居りしかば尙餘罪ある見込にて當該判事の取調べし結果は昨年來より十數箇所にて窃盜を働き殊に其の前日の午前二時頃山根町島燈臺局長官舍の裏手を切破りて室内に忍び入り髮剃二挺を窃取せる事も判明し此外尙犯罪ある目込にて取調續行中なるも今は該件進行上不都合あれば追て詳細報道すべし

水原殺し上告公判

▽日人刑事上告事件の嚆矢

昨年四月水原に於て藥殺しとして當地方の人心を驚かせし彼の奈良縣吉野郡下北山村中家節三郎なる者がモルヒネを用ひ其雇主にして賣藥行商人なる富山縣上新川郡新庄町江尻文太郎を毒殺せし事件に付て加害者中家は兼て京城理事廳にて死刑の言渡を受けたるが之に服せず控訴を爲せしも昨年十二月二十二日京城控訴院にて同樣死刑の宣告を受けたり中家尙之を不當りし直に高等法院に上告し同院にては之を受理の上愈々來三月七日午前十一時同院大法廷に於て渡邊高等法院長の裁判長の下に岩野、平山、淺見、牧山の各判事臘檢事出廷の上公判開廷せらるゝ筈なるが高等法院にては此事件を以て同院開廳以來日本人に對する刑事上告事件公判の嚆矢とす尙中家の辨護士として木尾辨護士當日出廷辨護する由

京城局の不都合

▽市内配達に仁川局を經由す▽吉凶鏡休載事情△

本紙が一部讀者の自戒自重の料として特に當地本町五丁目在留陰陽師三一館主に依頼し九星判斷吉凶鏡を日々連載し來れるは讀者の知了せらるゝ所なるが時として一日若しくは二日間に亘りて休載せることあり其の際に於ける一部讀者の不平は甚だしきものにて電話に書狀に編輯者の不親切を叱責せらるゝ事は局外者の想像し得らる所に非ず故に居常勉めて休載せざらん方針を執り居れるも誤配の攻撃に懲りたる京城郵便局の誤配なからんことに汲々として遲達を念とせざる爲め當然着社せざる可らざる原稿は郵便局所を離れず時々休載を強ひらるゝことあり然れども證據のないことなれば重大なる苦痛を感じつゝもこれを忍び居たるが去る廿六日朝の如き三一館より送稿あるべき筈なるに正午に至りても配達を受けず因りて本社は午後給仕を同館に使はし原稿の交付を請求せしめたるに同館主は「夫は以ての外なり廿七日の分より三月十日分迄一括廿五日夜十一時前投函したり」との事にて給仕は其の冒を齎らし歸社したるより然らば何人か請取りたるまゝ失念し居るには非らずやと社中同人の大詮議となりたるも誰れも受取りし者無しと猶多少の疑ひを存して斯く決定したるは廿六日の午後五時なりき、斯くて製版を終り印刷に取り掛りたる五時四十分本町五丁目なる廿五日後十二時頃出でたる郵便物は配達し來られたり、隨分の遲達に非ずやと打返し見たるに封筒表面部に仁川局の日附印を發見したり、社員の一人曰く仁川迄行つたのなら遲達に非ずして速達と云はざる可らずと、併し其の當時は其樣戯言に耳を藉すものはなく如何にして此の郵便物が仁川に紛れ込みたるやに付きて凝議したり、兎に角多數の事なれば絶對に錯誤なきを期するの無理なるは記者と雖ども又之れを知るも錯誤を錯誤とせず一片の遲達理由を附せず知らぬ顏の半兵衛を極め他を瞞過せんと企圖たるの不都合に至つては如何に圓滿主義の記者も默する能はず况んや本社は之れが爲めに無形の損害を強いられたるに於てをや、今其の郵便物の宛名及び日付附を掲記せんに

(表面)
市内小西門通り
京城新報編輯部御中

(裏面)
本町五、
三一館

消印京城局二月二十五日後九時十二時は表面左肩部に二箇所、表面右下側に仁川局二月二十六日前七時九時、裏面に京城局二月二十六日後三時五時の消印各一箇所あり、此れ慥かに間違ひなるべし、記者は此の間違ひを責むるものに非ず唯厚顏にも之れを知らん顏せる當局者の心情の陋劣を惡むと同時に此所に之れを叱り置くの必要を認むるものなり、記者は筆を起したるの序でを以て釜山局の不親切に就て一言する所あらん也

讀者諸君廿七、廿八兩日の吉凶鏡休載の事情は右の如くなるを以て幸に寬假せられんことを希ふ

新町女郎公判(二)

▽井角支店女郎の訴訟 [illegible]

●韓人の大法螺吹き

▲擧動不審で咎めらる

仁川龍洞金壽敬(三八)及柳景[illegible](三[illegible])といふは一昨日午後三時頃宮町[illegible]亭に登樓し前記金なる者は己れは東京に於て二三年[illegible]び其後英國に洋行して同じく[illegible]究し漸く一人前の辨護士と[illegible]右柳が宮町居住の邦人某に[illegible]圓の貸金督促の爲め出張せ[illegible]口から出任せの大法螺を[illegible]にぞ同亭に於ては氣味惡く[illegible]のか合手にせざりしより兩[illegible]立出で水田洞附近を彷徨中[illegible]不審として咎められ前記の[illegible]せしが兩人共其實は本町通[illegible]通辯を務むる男なりと

●辰市氏派遣の虛説

本[illegible]京城刊行の日韓各新聞紙上[illegible]尹中植より英國銀行へ預入[illegible]十萬圓受取の爲め辰市辨護[illegible]して派遣したり云々との說[illegible]れ共元來本件に在りては代[illegible]るの必要なきのみならず且[illegible]取の件に關しては昨年以來[illegible]より漢城府及び京城理事廳[illegible]を爲したる處同理事廳より[illegible]て香港英國政廳との間に於[illegible]の手續を了したるものなれ[illegible]護士派遣したりとのことは全[illegible]說なりと伊達植なる韓人よ[illegible]

●醫藥界の福音

東京牛[illegible]藥局より發賣するエキスペ[illegible]治淋藥として無二の奇藥に[illegible]治せし者數千人但し醫藥界[illegible]ふべし發見者なる川島先生[illegible]名なる研究者にして今回發[illegible]如き稀有の發見藥なりとて[illegible]て稱贊あり

演藝

▲壽座の蓋明け 仁川歌舞伎座に[illegible]なした新派[illegible]は愈々當地に[illegible]より壽座にて花々しく興行[illegible]同座員は大阪若手新進の腕[illegible]

▲仁川の桃中軒 桃[illegible]門は今晩より仁川歌舞伎座[illegible]浪花節を開演する筈

▲京城座 同座本晩の替[illegible]神か佛」かの全七場にして[illegible]左の如し
石原吉公(伊井蓉[illegible])警部田[illegible]敏雄)高山れ高、直三妻れ[illegible]一郎)高山れ袖(金澤武[illegible](高島一郎)天理教信者李[illegible]保田明)天理教信者留助[illegible]向疵仙太(奥部保)高山[illegible]翠)田村操(吉田幸雄)天[illegible]平(清水明)藥師直三(父直[illegible]辰馬)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館

三月一日(舊正月十九日)乙丑 閉 [illegible]

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●留上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし俸給安まず 氏名在社(八)
●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ 日の出町下山商行（電一〇〇七）
●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店（電三二四三）

物件部

●貸家 西大門内倶樂部館西六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問所消水方へ
●電話譲渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店
●老舗譲渡 本町一丁目目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急譲渡したし 旭町一の六〇 山村
●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり汽車電車に近く出入便利希望の方は電話七四番
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名在社
●繪葉書譲渡 日韓未使用紀念繪葉書安價譲渡したし 氏名在社(九)

廣告

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

入院随意
内科 小兒科 眼科
原醫院
龍山新市街山下町

中島醫院
入院随意
京城黄金町三丁目（電話三七八番）
院主醫學得業士 中島貞信

●●滋養と牛乳●●
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
●●衛生と消毒●●
馬車配達

入院随意
内科 外科 小兒病科 梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目 電話(二一六)
院長陸軍軍醫正 高井貞治

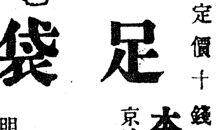
[illegible]

諸荒物世帯道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
日用雜貨 卸問屋
西崎嘉七本店
京城本町六丁目 電話二一〇 電略(ニカ) 振替貯金口座韓七番

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

▲東京人形 五百個限り
●一個定價十錢より壹圓迄
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勧商場内ニモ出張店アリ

東京足袋



正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前）
電話三五四番

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依頼し各科の診療に從事す入院の需めに應す

外科花柳病科 診察時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長 ドクトルメヂチーネ 和田八千穂
内科小兒科 自午前九時至正午 前仁川病院長 醫學士 松村三省
眼科内科 同 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎
耳鼻咽喉科 同 自午後一時至四時（但し毎月四回一日五日十五日廿五日） 醫學得業士 赤羽學
婦人科 同 自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀬健六

龍山居留民團囑托
龍山醫院
龍山榮町（文平山麓）
院主 瀧澤喜太郎

神戸資生分院
京城梅毒病院
京城相生町（南門湯横）
◎花柳病專門並、痔（注射療法）
●入院随意●
院長 醫學得業士 盧田耕平
（電話一二九四）

營業科目

諸官衙御用品調達
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委托販賣

東京ランバータ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 電話新橋三六九二

瑞西タバン時計 米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
時計會社韓國代理販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目 林田交換所（電話六十五番）

特約販賣
味噌醬油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
自製 洋酒、酒精、酢、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本食鹽各種特約販賣
御望に依り商品切手調進仕候

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一に心懸け候

綿わた綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
卸問屋 唐川商店
京城明治町一丁目四ツ角 電話二六一番

外科 内科
梅毒痳病專門
戸田病院
●京城御成町南大門外一丁角
●入院随意
●電話番號九三八番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る）
待合 醉月
電話二六五番

韓國銀行

電話 本店用 當直用 用度係用 來客用 臨時建築部
（長）一、 一、 （長） 一、
三二二三六一三
三六六三一〇三
一〇一一二六二

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣、
爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山以上日本 釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、寧邊、義州（以上韓國） 大連、（淸國）
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

蒸氣 牛乳 消毒
平山牧場
京城大和町一丁目
電話 三三

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
（電話一一一五番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店（電話四二〇）
本店 長崎市濱町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹厘二毛）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十八番地 電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金津、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 木浦、仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、晋州、羅州、大邱、群山、安東縣、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利に取扱[illegible]

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店 郡回漕店 仁川海岸通 電話三九番
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 三月十三日後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 三月十九日正午時出
●大連、太沽行 山東丸 三月二日午前六時出
●大連太沽行 酒田丸 三月五日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦潮行 立神丸 三月九日午[illegible]
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船[illegible]